

夢がある。
技術がある。
未**来**ができる。

OKURA REPORT

第101期 株主通信

2020年1月1日～2020年12月31日



大倉工業株式会社

証券コード 4221

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り

厚くお礼申し上げます。

「第101期株主通信」を皆様にお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、企業収益の減少など厳しい状況が続いているものの、国内需要や輸出の改善など国内外の経済活動が再開したことで持ち直しの動きが見られました。しかしながら、11月以降の新型コロナウイルス感染再拡大に伴う経済活動の更なる停滞への懸念などから、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、一部回復の動きが見られるものの、ほぼすべての事業において新型コロナウイルス感染拡大による市場縮小の影響を受けたことにより、当連結会計年度の売上高は809億5千8百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

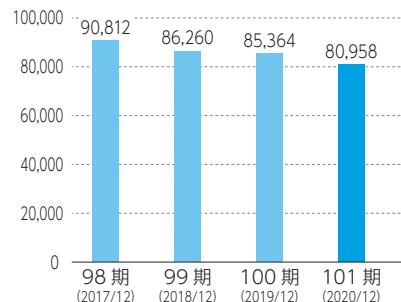
利益面では、建材事業やホテル事業などの売上高減少の影響はあるものの、合成樹脂事業において変動コストが低位で推移したことや付加価値の高い製品の販売増加などにより、営業利益は42億8千6百万円(前年同期比15.2%増)、経常利益は45億9百万円(前年同期比15.8%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等の増加などにより、28億6千5百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要課題の一つと位置づけ、業績や事業の将来展開に必要な備え等を総合的に勘案しながら、安定的な配当を行うことを基本方針としております。このような方針のもと、2020年12月期の期末配当金につきましては1株当たり55円を予定しておりましたが、2020年12月期の業績を踏まえ、株主還元の充実を図るため5円増配し、1株当たり60円といたしました。

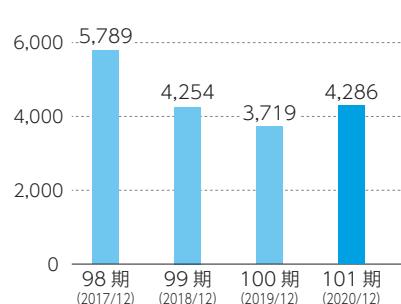
新型コロナウイルスの感染拡大が日本経済へ深刻な影響を及ぼしていますが、当社グループでは、この事態に的確な施策を講じながら対処していく所存ですので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2021年3月

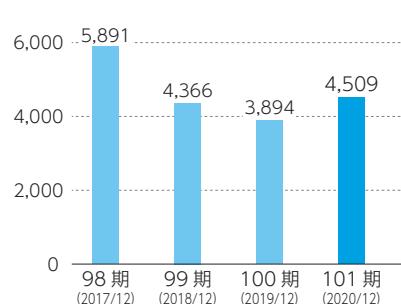
売上高の推移 (単位:百万円)



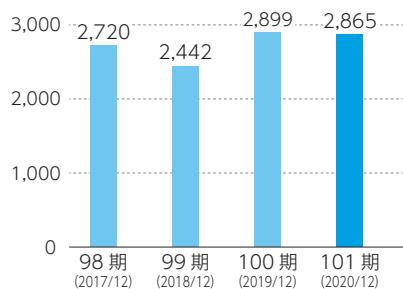
営業利益の推移 (単位:百万円)



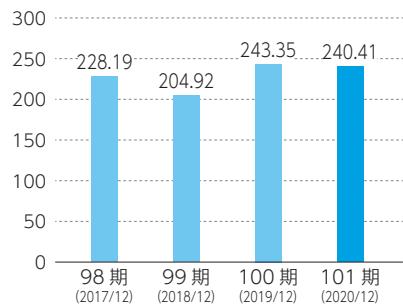
経常利益の推移 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益の推移 (単位:百万円)

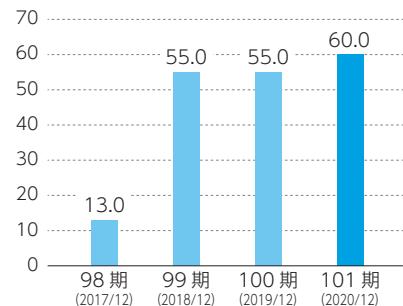


1株当たり当期純利益の推移 (単位:円)



(注) 2018年7月1日を効力発生日にして普通株式5株につき1株割合で株式併合を実施しております。このため98期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

1株当たり配当額の推移 (単位:円)



(注) 98期は株式併合前、99期～101期は株式併合後で記載しております。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

OKURA

代表取締役
社長執行役員
神田 進

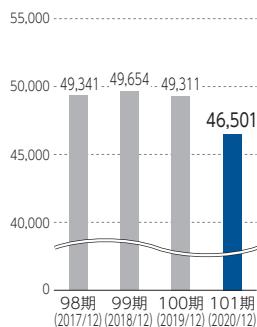
事業別概況(連結)

合成樹脂事業

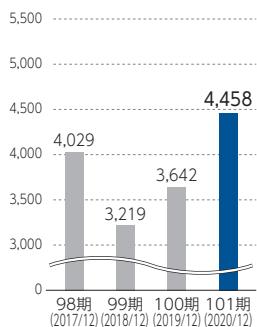


衛生材料向け詰替え用パウチ袋が堅調に推移している一方で、建材用途フィルムや自動車及び工業用途のフィルムが第4四半期で底を脱したものの通期では販売数量が減少し、売上高は465億1百万円(前年同期比5.7%減)となりました。一方、営業利益は、原料構成により変動コストが低位で推移したことや付加価値の高い製品の販売数量増加などにより、44億5千8百万円(前年同期比22.4%増)となりました。

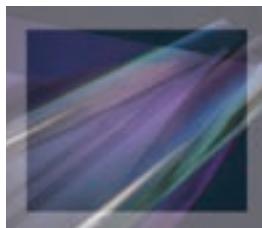
売上高の推移 (単位:百万円)



営業利益の推移 (単位:百万円)

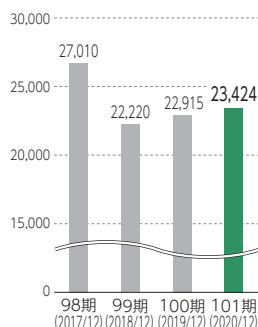


新規材料事業

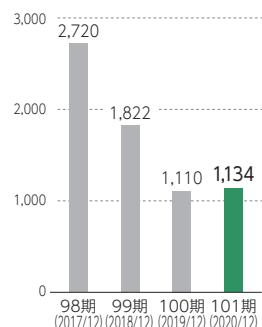


新型コロナウイルス感染拡大により国内外の様々な市場の縮小が続いておりましたが、自動車関連やOA機器向け機能材料製品等の需要が底を脱したことや、大型液晶パネル向け光学フィルムの受注が旺盛なことも相まって、売上高は234億2千4百万円(前年同期比2.2%増)となりました。営業利益は売上高の増加などにより、11億3千4百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

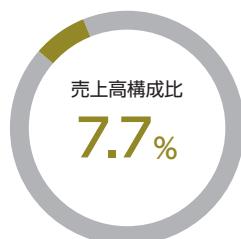
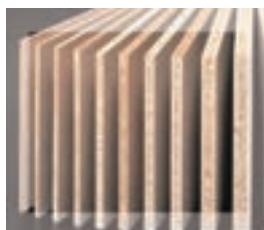
売上高の推移 (単位:百万円)



営業利益の推移 (単位:百万円)

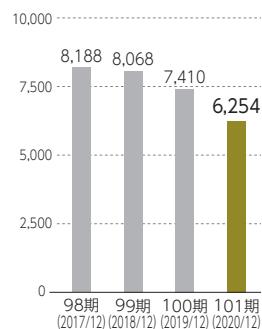


建材事業

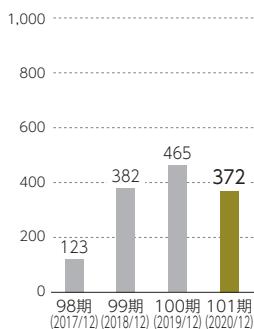


消費増税及び新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、新設住宅着工戸数が減少し、フロア関連向けパーティクルボードの販売数量の減少や上半期において転売商品の販売を終了したこと、前年6月に南洋材合板化粧板等の規格品販売を終了したことにより、売上高は62億5千4百万円(前年同期比15.6%減)となりました。営業利益は生産性向上に努めコストを抑えたものの、売上高が減少したことなどにより、3億7千2百万円(前年同期比20.1%減)となりました。

売上高の推移 (単位:百万円)



営業利益の推移 (単位:百万円)

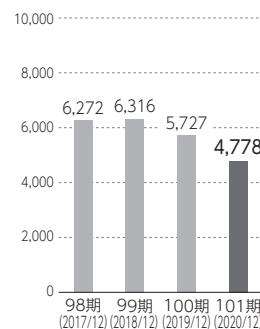


その他

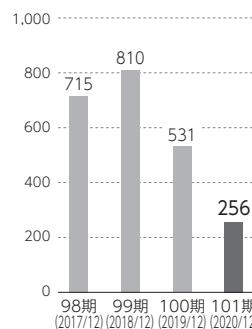


ホテル事業において新型コロナウイルス感染拡大の影響などを受け、宿泊及び宴会などの著しい減少が続いていることや、前年3月にオークラホテル高松の営業を終了したことなどにより、その他全体の売上高は47億7千8百万円(前年同期比16.6%減)となりました。営業利益は売上高の減少などにより、2億5千6百万円(前年同期比51.6%減)となりました。

売上高の推移 (単位:百万円)



営業利益の推移 (単位:百万円)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第101期連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

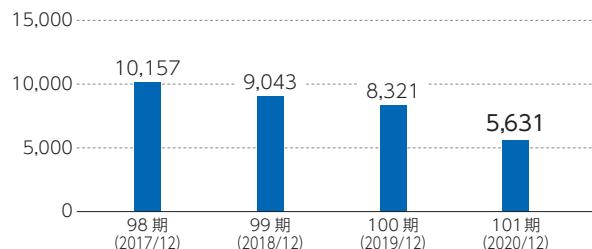
(単位:百万円)

科目	100期末 2019年12月31日現在	101期末 2020年12月31日現在
資産の部		
流動資産	42,561	43,184
現金及び預金	7,605	9,179
受取手形及び売掛金	21,527	20,430
電子記録債権	3,916	4,901
商品及び製品	4,559	3,791
仕掛品	988	917
原材料及び貯蔵品	3,070	3,197
販売用不動産	235	178
その他	657	588
貸倒引当金	△0	△0
固定資産	40,920	39,466
有形固定資産	30,992	29,476
建物及び構築物	13,819	13,411
機械装置及び運搬具	9,120	8,784
土地	5,994	5,994
建設仮勘定	1,528	766
その他	528	519
無形固定資産	684	791
投資その他の資産	9,242	9,199
投資有価証券	7,787	7,965
繰延税金資産	852	628
その他	604	604
貸倒引当金	△1	△0
資産合計	83,481	82,651

科目	100期末 2019年12月31日現在	101期末 2020年12月31日現在
負債の部		
流動負債	30,756	27,499
支払手形及び買掛金	15,571	15,250
短期借入金	5,386	3,321
1年内返済予定の長期借入金	1,283	962
未払金	4,057	2,898
未払法人税等	226	822
その他	4,231	4,244
固定負債	6,282	6,057
長期借入金	1,650	1,348
繰延税金負債	12	17
退職給付に係る負債	3,688	3,734
その他	930	957
負債合計	37,039	33,557
純資産の部		
株主資本	44,053	46,276
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	27,230	29,439
自己株式	△864	△850
その他の包括利益累計額	2,373	2,798
その他有価証券評価差額金	2,326	2,694
為替換算調整勘定	158	161
退職給付に係る調整累計額	△110	△56
非支配株主持分	14	18
純資産合計	46,441	49,094
負債純資産合計	83,481	82,651

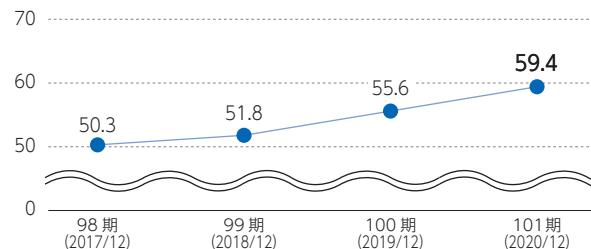
実質借入金の推移

(単位:百万円)



自己資本比率の推移

(%)



連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	100期	101期
	2019年1月1日から 2019年12月31日まで	2020年1月1日から 2020年12月31日まで
売上高	85,364	80,958
売上原価	72,071	67,721
売上総利益	13,292	13,236
販売費及び一般管理費	9,573	8,950
営業利益	3,719	4,286
営業外収益	319	406
受取利息及び配当金	176	177
為替差益	0	—
受取保険金	55	3
助成金収入	0	136
雑収入	85	89
営業外費用	143	182
支払利息	115	100
為替差損	—	29
雑損失	28	52
経常利益	3,894	4,509
特別利益	193	12
固定資産売却益	193	2
投資有価証券売却益	—	9
特別損失	613	437
固定資産除売却損	134	107
減損損失	412	—
投資有価証券売却損	66	0
投資有価証券評価損	—	290
特別退職金	—	3
臨時休業による損失	—	35
税金等調整前当期純利益	3,474	4,084
法人税、住民税及び事業税	584	1,110
法人税等調整額	△12	103
法人税等合計	571	1,214
当期純利益	2,902	2,870
非支配株主に帰属する当期純利益	2	4
親会社株主に帰属する当期純利益	2,899	2,865

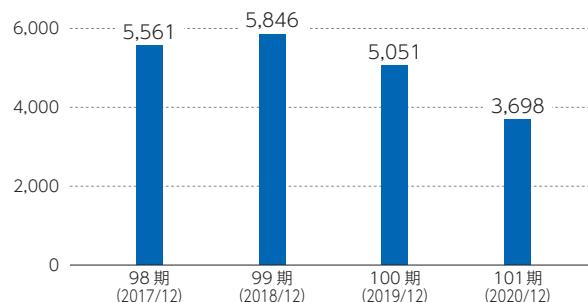
連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	100期	101期
	2019年1月1日から 2019年12月31日まで	2020年1月1日から 2020年12月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	7,114	9,298
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,566	△4,356
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,374	△3,341
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△0	△27
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	174	1,574
現金及び現金同等物の 期首残高	7,431	7,605
現金及び現金同等物の 期末残高	7,605	9,179

設備投資(工事ベース)の推移

(単位:百万円)



(注) キャッシュ・フロー計算書は支払ベースで記載するのに対し、本グラフは工事ベースで表示しております。

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

製品紹介

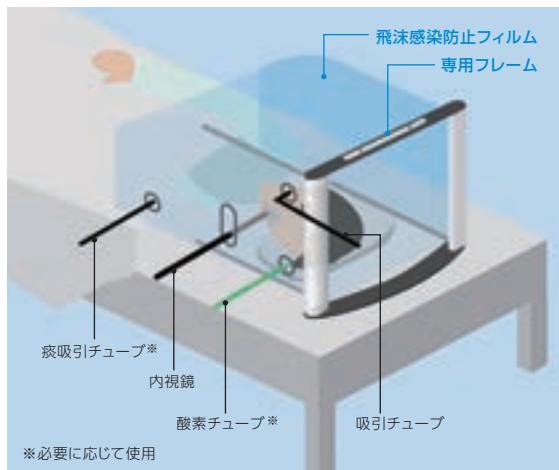
当社は、医療従事者が安心して検査を行える内視鏡用ウイルス感染防御システム「Endo barrier」を開発・製品化しましたので、ご紹介致します。

内視鏡用ウイルス感染防御システム 「Endo barrier」

システムの概要

「飛沫感染防止フィルム」と「専用フレーム」のセット使用により、準密閉空間を形成。フィルムで囲われた準密閉空間を陰圧化することで、飛沫の拡散を最小限に抑える。

- **フィルム** ポリエチレン製専用フィルム
(ディスポーザブル)
- **フレーム** 専用フィルム固定用治具



当社は、国立大学法人香川大学(以下「香川大学」)との協働で開発しておりました内視鏡用ウイルス感染防御システム「Endo barrier」を製品化しこの度上市致しました。

新型コロナウイルスの影響による消化器内視鏡検査の中止や延期事例が発生しており、早期発見・早期治療の機会逸失にも繋がってしまう重大な問題となっています。このような中、当社は香川大学のコンセプトモデルを基に当システムの製品化を実現致しました。

当システムは、患者と医療従事者間の直接暴露を防止するだけでなく検査室内への飛沫拡散も抑制できることから、内科に限らず様々な診療科での使用が期待されており、既に多くの医療機関様から問い合わせをいただいております。

当社グループは、今後とも社会に貢献できる製品の開発や製品化に積極的に取り組んでまいります。

オークラホテル丸亀 宿泊プランのご案内



©2020 四国水族館



四国水族館



オークラホテル丸亀

オークラホテル丸亀では、様々なシーンで皆様にご利用いただけるよう、いろいろなプランをご用意しております。今回は、「四国水族館」の入館チケットと宿泊がセットになったプランをご用意しました。

四国水族館は、香川県にオープンした「四国水景」がテーマの水族館です。四方の海、数多くの清流、無数の池沼といった四国ならではの水中世界を再現しています。生き物たちの生息環境のみならず、時間帯や季節で変化する空間演出が施されるなど大人も楽しめる次世代水族館です。オークラホテル丸亀から車で約10分のアクセスです。

※オークラホテル丸亀では、新型コロナウイルス感染拡大防止策を国や行政機関の指針に則って講じ、お客様の安心安全に取り組んでいます。

株主優待制度の一部変更のお知らせ

今般、株主の皆様の利便性の向上を図るとともに、当社株式の投資魅力を高め、より多くの方々に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を変更いたしました。株主

の皆様におかれましては、何卒ご理解をいただき、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



■ 変更後の株主優待制度

保有株式数	優待内容	
100株以上 1,000株未満	QUOカード(クオカード) オークラホテル丸亀 食事券	1,000円分 × 1枚 1,000円分 × 2枚
1,000株以上 2,000株未満	QUOカード(クオカード) オークラホテル丸亀 食事券	2,000円分 × 1枚 1,000円分 × 4枚
2,000株以上	QUOカード(クオカード) オークラホテル丸亀 食事券	3,000円分 × 1枚 1,000円分 × 6枚

※ 割当基準日:12月31日

当社では、例年IR情報として「第2四半期株主通信」をお届けしておりましたが、この度、地球環境等を配慮した省資源化の観点から発行を取りやめることといたしました。ご報告事項や最新のトピックスにつきましては、当社ホームページにて掲載しておりますので、ぜひご覧ください。なお、期末株主通信につきましては、今後も発行させていただく予定です。何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新取締役ごあいさつ



取締役執行役員

ふくだ えいじ
福田 英司

この度、当社の取締役に選任されました福田英司です。

私は1993年に大倉工業に入社、経理部に配属され業務全般を担当しました。その後、第一次中期経営計画の策定に携わったことがきっかけで、合成樹脂事業の分社化構想の先駆けとなった九州オークラの発足から関西オークラと合わせて、足掛け11年間を子会社の経営に従事しました。合成樹脂事業部管理部門に異動してから今日までは、引き続き組織再編やシステム構築に携わってまいりました。

昨今は、環境問題をはじめESG視点の経営が求められており、社会ニーズへの柔軟な対応ができるしくみづくりが必要です。ガバナンス体制を強化し、より多くの社会的価値が創造できる企業に発展させたいと考えております。

微力ながら社業発展に尽力してまいりまいる所存ですので、株主の皆様のご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



社外取締役（監査等委員）

いわはし ひろき
岩橋 浩貴

この度、当社の社外取締役である監査等委員に選任されました岩橋浩貴です。

私は、社外から選任され、当社の事業に関わらせていただくことは初めてとなりますため、就任後は当社の現在の状況や経営課題等について、自分自身の目で確かめながら理解を深めることに最優先で注力したいと考えております。その上で、外部視点を持ちながら、取締役会の監査・監督を行うことに加え、当社が中長期的に企業価値を向上させていくために必要な運営体制等について正しく認識し、適切な指摘や助言を行い、監査等委員の責務を果たしていきたいと思っております。特に、これまでの異業種での経験を活かし、他3名の監査等委員と連携しながら、取り組むことが重要と考えております。

微力ではございますが、当社の健全で持続的な成長に向けて努力してまいりまいる所存でございますので、株主の皆様のご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

グループ会社 新社長ごあいさつ



株式会社オークラパック香川
代表取締役社長

うるしはら たつや
漆原 達也

オークラパック香川は、1995年1月に大倉工業にて製造されたフィルムの2次加工を請け負うことを目的として発足致しました。お客様の所望するフィルム幅に裁断して巻き取るスリット加工や、フィルムを幅方向に半分に折って巻き取る半折加工、フィルムに熱シールを施し袋状に仕上げる製袋加工、フィルムに凹凸の模様を付与するエンボス加工、フィルム中に発生した欠点を検知・除去する巻替検査、及び大倉工業にて製造されたフィルムの物性検査等が主な請負業務です。

いずれの請負業務も、当社工程がお客様にお届けする製品形態まで仕上げる最終工程となっており、非常に重要な責務であると認識し、自信と誇りをもって取り組んでおります。

常にお客様に満足していただける品質を維持し、低コストを実現するための生産性向上を使命とし、弛まぬ努力で改善を図ってまいります。今後ともご指導ならびにご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



オークラ情報システム株式会社
代表取締役社長

おおにし てつお
大西 哲夫

当社は1991年11月に大倉工業の一部門が独立した会社で、ITサービスを広く社会全体へ提供することを目的としております。大倉工業グループのシステム開発を担いつつ、製造業向けの開発スキルやノウハウを蓄積し、今日では流通業や医療系向けの製品やサービスを作り出すまでに至っております。IT業界では日々新しい技術が誕生し、人々の生活をより便利なもの、豊かなものへと変化させています。この時流に乗り遅れないように、更に人や組織が成長し、蓄積してきたノウハウと未来の技術を融合させ、独自の製品やサービスを世の中に提供していきたいと考えております。社会の変革に伴い情報産業の重要性はより一層高まると思われれます。お客様のニーズやウォンツを見逃さず、その真意を拾い上げ、厳しい競争社会を勝ち抜けるように努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会社情報 / 株式情報

会社概要 (2020年12月31日現在)

社 名 大倉工業株式会社
設 立 1947年7月11日
資 本 金 8,619,616,071円

業務内容

- ・各種ポリエチレン製品及びポリプロピレン製品の製造販売
- ・光学機能性フィルム等の製造販売
- ・パーティクルボード及び加工ボード等、加工合板の製造販売

役員 (2021年3月25日現在)

代表取締役会長	高 濱 和 則
代表取締役社長執行役員	神 田 進
取締役常務執行役員	田 中 祥 友
取締役執行役員	上 原 英 幹
取締役執行役員	植 田 智 生
取締役執行役員	福 田 英 司
※常勤監査等委員	櫻 井 茂 樹
※監査等委員	馬 場 俊 夫
※監査等委員	北 田 隆 隆
※監査等委員	岩 橋 浩 貴

※社外取締役

株主メモ

決 算 期	毎年12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会 12月31日(その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。) 剰余金の配当 期末配当 12月31日 中間配当を行う場合 6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告とし、当社ホームページ(https://www.okr-ind.co.jp)に掲載いたします。ただし電子公告によることができない事故やその他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部

夢がある。技術がある。未来ができる。



大倉工業株式会社

本社 / 〒763-8508 香川県丸亀市中津町1515番地
TEL 0877-56-1111

株式の状況 (2020年12月31日現在)

発行可能株式総数 28,021,600株
発行済株式の総数 12,414,870株
株 主 数 11,046名

大株主(上位10位) (2020年12月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
住友化学株式会社	963千株	8.08%
株式会社中国銀行	582千株	4.89%
オークラ共栄会	550千株	4.62%
株式会社百十四銀行	384千株	3.22%
日本生命保険相互会社	375千株	3.15%
住友林業株式会社	315千株	2.65%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	309千株	2.60%
三井住友海上火災保険株式会社	271千株	2.28%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	261千株	2.19%
大倉工業従業員持株会	252千株	2.12%

(注)当社は自己株式491,530株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

住所変更、単元未満株式の 買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。